

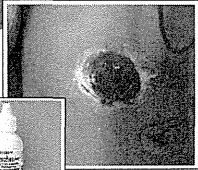
### ストーマ周囲皮膚炎

❖ 排泄物の暴露が原因

- ① 装具はストーマサイズに合っているか
- ② 交換頻度は適切か  
皮膚保護材は溶解1cm程度で交換が好ましい

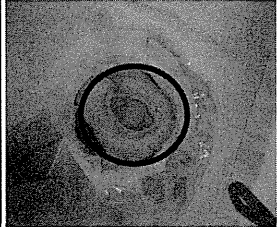
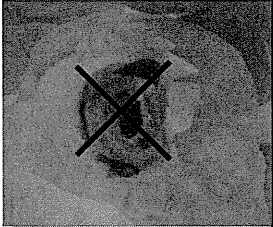
❖ ケア方法

- ① 粉状皮膚保護材を散布
- ② 場合によっては補強
- ③ ストーマ装具の見直し


平成24年12月1日 訪問看護研修会

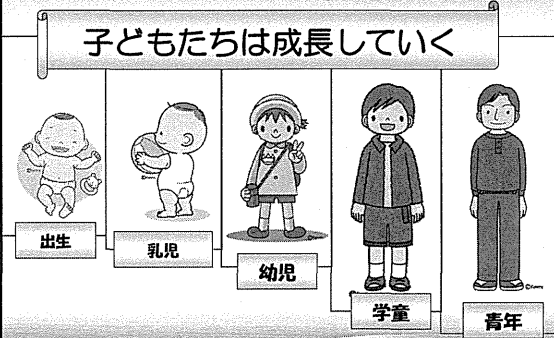
### 面板の溶解の程度

平成24年12月1日 訪問看護研修会

### 小児のストーマケア

子どもたちは成長していく



平成24年12月1日 訪問看護研修会

### 小児のストーマケア

生活



平成24年12月1日 訪問看護研修会

### 小児のストーマケア

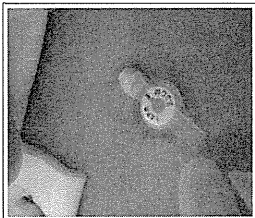
成長や生活に合わせた装具選択



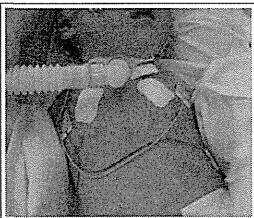
是非ご相談ください

平成24年12月1日 訪問看護研修会

### その他のストーマ



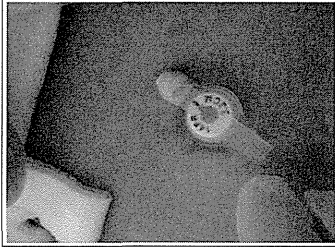
【胃瘻】



【気管切開】

平成24年12月1日 訪問看護研修会

## 胃瘻の管理



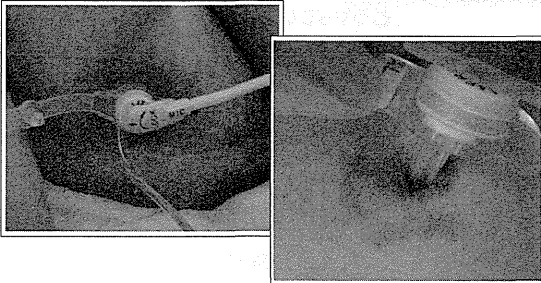
平成24年12月1日 訪問看護研修会

## 胃瘻の予防的スキンケア

- ❖ 予防的スキンケア
- ①あわ立てた石鹸で十分洗浄する。
- ②消化液の緩衝と撥水を目的としたスキンケア
- ③皮膚保護クリーム、皮膚保護オイル
- ④浸出液がある場合は、ガーゼやティッシュでのごよりなどをかませて汚染時には必ず交換  
汚染されたY字ガーゼを長時間接触させておくこと真菌感染の原因となる  
摩擦等により肉芽の原因になることもある
- ⑤周囲に胃液、浸出液、栄養剤等の漏れがある場合は、胃瘻チューブを再検討する  
サイズが合わなければ、肉芽の原因となる事もある

平成24年12月1日 訪問看護研修会

## 胃瘻周囲皮膚炎



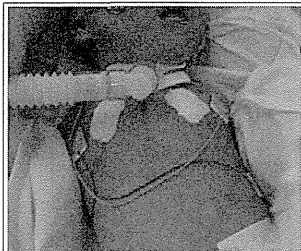
平成24年12月1日 訪問看護研修会

## 胃瘻孔周囲皮膚炎

- ❖ 胃液（pH1.0～3.5と酸性・たんぱく質分解酵素も含まれている）、浸出液の接触、栄養剤の漏れによる汚染で起こる。
- ❖ 皮膚炎のケア
- 1) ストーマ用皮膚保護パウダーを散布もしくは潰瘍の場合はハイドロコロイドドレッシングを円盤上にカットし、潰瘍部分を含めて周囲貼付する
- 2) 胃瘻周囲からの漏れが多い場合は、Yガーゼを使用し適宜交換し汚染を予防する

平成24年12月1日 訪問看護研修会

## 気管切開口の管理



平成24年12月1日 訪問看護研修会

## 気管切開口の予防的スキンケア

- ❖ 気管切開口周囲皮膚のケア
- 1) 気管切開口周囲皮膚の清潔
- 2) 皮膚保護・撥水クリーム・皮膚皮膜剤  
→オリーブ油やベビーオイルで対応することもある

平成24年12月1日 訪問看護研修会



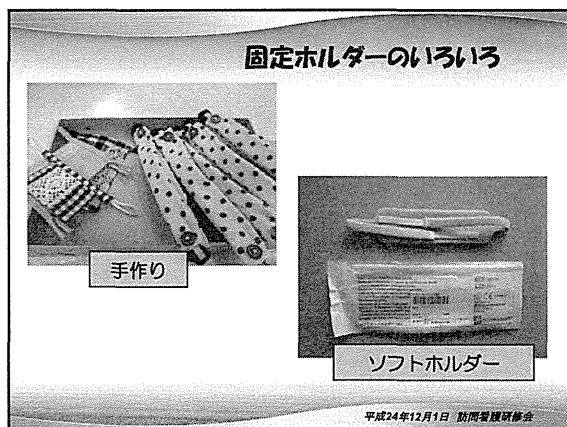
### 気管切開口周囲皮膚炎

❖ 発汗、分泌物の汚染で起こる。また固定ホルダー部位の皮膚炎は発汗や分泌物の汚染に加えて、固定ホルダー摩擦による機械的刺激による

❖ 皮膚炎のケア

- 1) ストーマ用皮膚保護パウダーを散布もしくは潰瘍の場合は hidroコロイドドレッシングをカットし、潰瘍部分を含めて周囲貼付する
- 2) 児の頸部の太さにあった固定ホルダーの選択細く食い込むのではなく、太い面で皺に入り込まないようにする
- 3) 真菌感染症と判別が必要

平成24年12月1日 訪問看護研究会



どうやってケアしたらよいか…  
ケアしてもよくなるらない…

そんな時は是非ご相談ください

千葉県こども病院

**043-292-2111**

皮膚・排泄ケア認定看護師 作田 香織まで

平成24年12月1日 訪問看護研究会



# NICUでの新生児医療

赤ちゃんの家族と、医療スタッフ



埼玉医科大学総合医療センター  
総合周産期母子医療センター新生児科  
側島 久典  
そばしま ひさのり

2013.2.3 前田班研修会

- NICUとは何？
  - どんなことをしているのか
  - 入院する児のプロフィール
- 救命率は？ 障害はどのくらいなのか
  
- 退院はいつごろ？どんな状況で？
- 長期入院児 どのような児が長期になるのか？
  - その後どうされているのか
  - 退院しっぱなし？ 誰が診察をするのか？
- 彼らの発達はどうなっていて、いつ評価するのか？
  
- 退院後の再入院は
- 在宅医療に移行となる児はどのような疾患？

質疑：

2013.2.3 前田班研修会

2



# NICUとはどんな施設か？

## 周産期母子医療センター

産科（母体胎児を扱う）

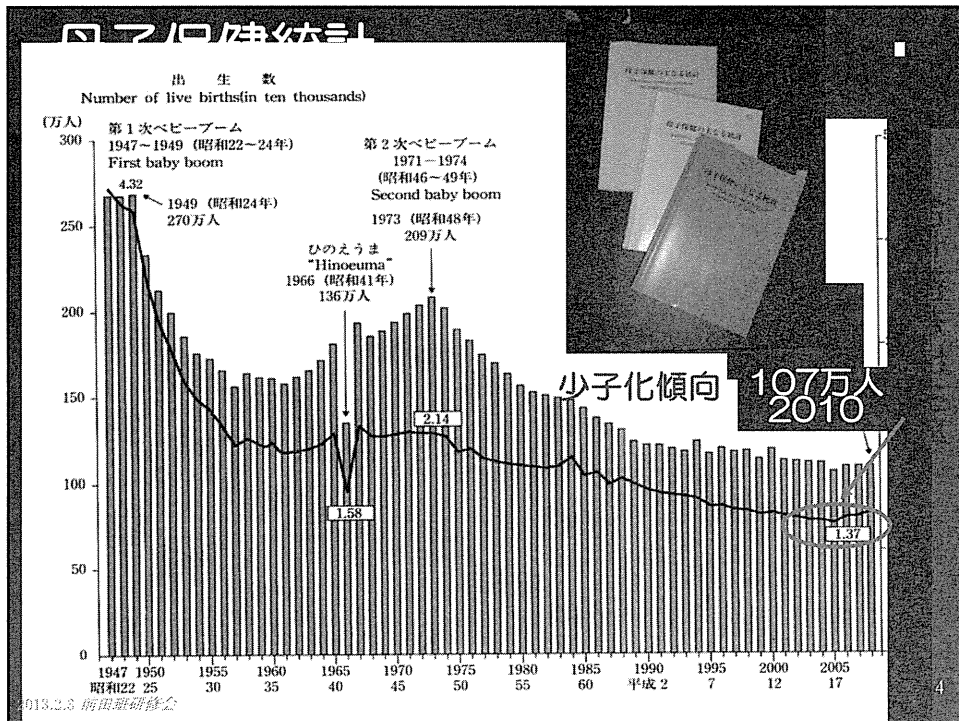
新生児科（小児科）：NICUをマネージ

小児外科

小児循環器（先天性心疾患等）

麻酔科

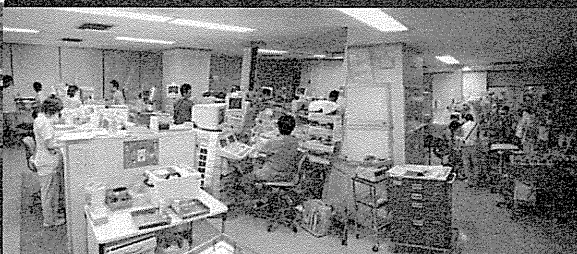
- 総合周産期母子医療センター
- 地域周産期母子医療センター



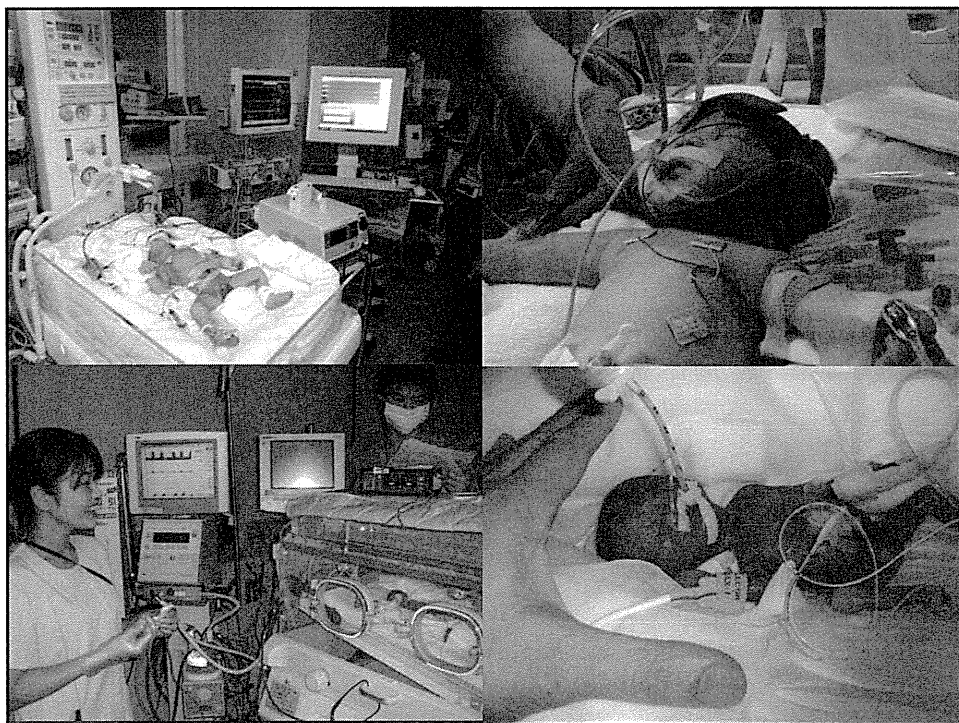
全国	出生数	出生率	対1000			? 999g	1000g ? 1500g
			乳児死亡率	新生児死亡率	周産期死亡率		
2010年	1,071,304	8.5	2.3	1.1	4.2	3,232	4,864
2000年	1,190,547	9.5	3.2	1.8	5.8	2,866	5,034
埼玉県	59,437	8.4	2.2	1.0	4.2	151	241
	66,376	9.7	3.2	1.6	6.0	139	248
東京都	108,135	8.4	2.0	0.9	3.9	276	477
	100,209	8.5	3.5	2.0	5.6	255	443
大阪府	75,080	8.6	2.1	1.0	4.0	233	360
	88,163	10.2	2.9	1.5	5.5	217	370
愛知県	69,872	9.6	2.2	1.1	4.0	196	278
	74,736	10.8	3.2	1.9	5.6	153	299
名古屋市	20,125	9.1	1.7	1.0	4.5	52	80
	20,760	9.7	3.4	1.9	5.0	45	85

母子保健の主なる統計: 厚生省児童家庭局母子保健課 2001, 2012 刊行 2011 厚生労働省 HP  
 2013.2.3 前田研修会 Dept. of Neonatology, Center of Maternal, Fetal and Neonatal Medicine, Saitama Medical Center, Saitama Medical University

## NICUのニーズは高まる一方 設備は向上

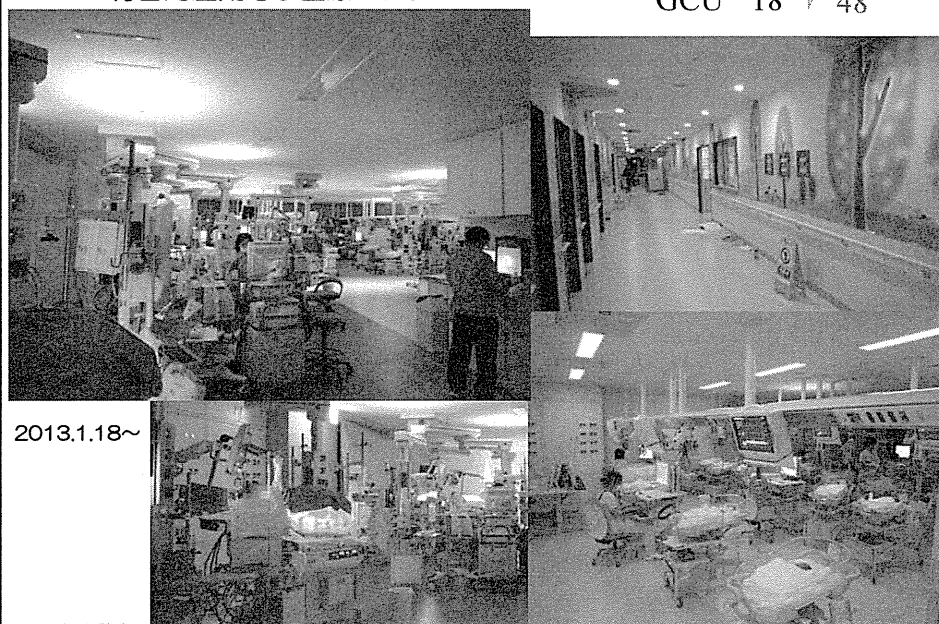


2013.2.3 前田研修会



埼玉医科大学総合医療センター  
総合周産期母子医療センターNICU

NICU 30 → 60  
GCU 18 → 48



2013.1.18~

2013.2.3 前田班研修会

新生児部門

NICU : 30床  
 GCU : 18床  
 強化治療室  
 回復期室  
 母子室 4

新生児部門スタッフ  
 医師13  
 看護師：80名（13人夜勤）  
 保育士：1名  
 臨床心理士：1名

周産期麻酔部門

小児外科

周産期循環器部門

母体胎児部門

MF ICU : 15床  
 後方bed : 31床  
 -----  
 後方bed : 14床

2012Feb～  
 産科部門スタッフ  
 医師 : 10  
 看護師 : 49 (7人夜勤)

## NICU : Neonatal Intensive Care Unit 新生児集中治療施設

どのような新生児が入院しているか

- 低出生体重児 : < 出生体重 2500g
- 早産児 : < 在胎37週

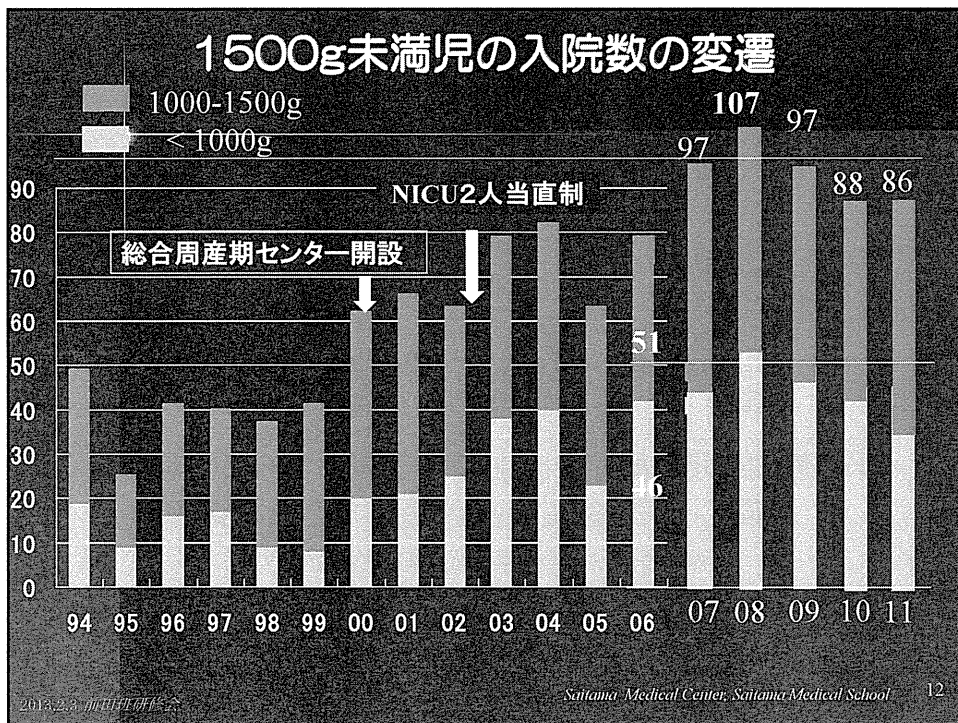
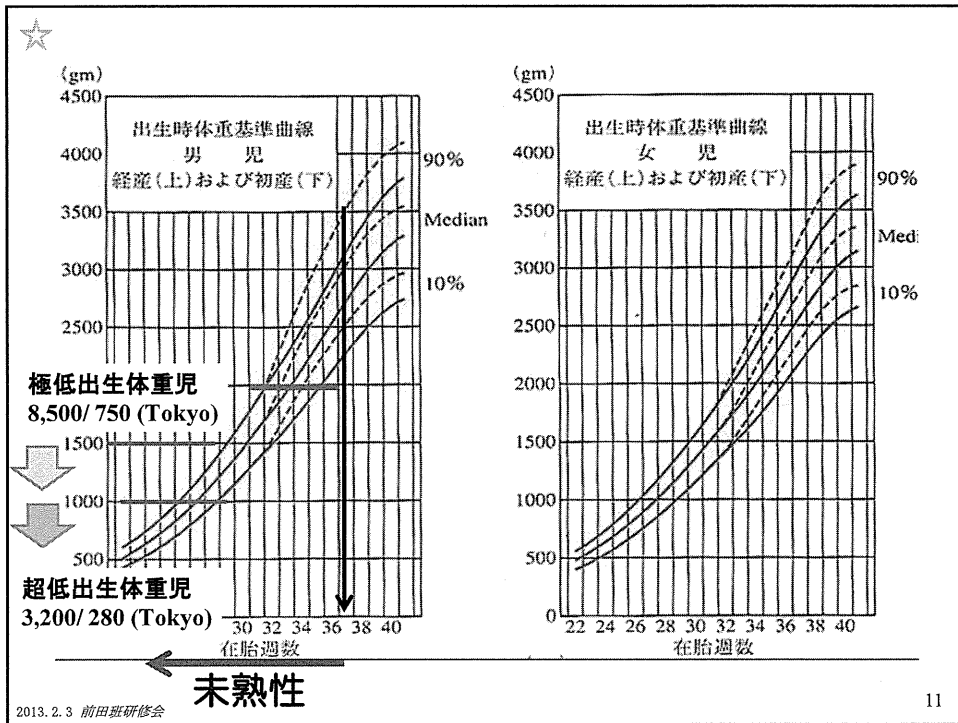
成熟・体重増加

↓  
 低出生体重児 : 出生体重 2000~2500g  
 早産児 : < 在胎35-6週

- 早産児～正常産児 : 出生時/早期新生児期の異常症状

呼吸・循環障害、病的黄疸、奇形、胎児診断

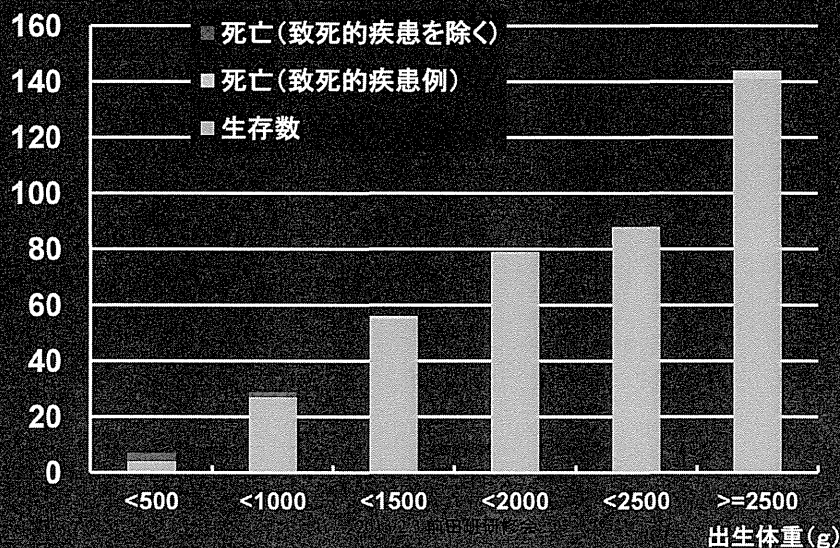
- 新生児仮死（低酸素性虚血性脳症）
- 小児外科疾患（手術を必要とする）
- 奇形症候群
- 遺伝性疾患（入院後に診断が確定）  
 代謝異常症、神経、筋疾患





## 出生体重別生存数・死亡数(2011年)

入院数



## 3ヶ月以上の長期入院患者 6か月、1年、3年

週数	体重	期間(月)	疾患名	見込み	
1	34	1753	15	全前脳胞症、水頭症、痙攣	水頭症の安定後(転院)
2	40	2884	13	難治性痙攣、胃食道逆流	気管切開検討中、医療乳児院
3	39	3010	10	13-トリソミー、TOF、口唇口蓋裂	口唇裂手術予定
4	38	2684	5	低フォスファターゼ血症、肺低形成	人工換氣中
5	30	482	3	Severe SFD、ELBWI、PH	呼吸が安定すれば
6	28	1116	3	VLBWI、CLD	人工換氣離脱、退院の方向
7	27	974	3	VLBWI、CLD	人工換氣離脱、退院決定

長期入院児となりそう…… 主治医・スタッフの認識共有  
 家族への意識付けをしつつ、在宅医療を視点に入れて  
 小児科病棟への情報伝達、共有(在宅移行前の転科)